

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2022年(令和4年)8月25日号 No.1900

目次

■ 2022年上半期のロシア経済と鉱工業生産	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2022年9-10月号のご紹介	6
■ エトセトラ	7
ROTOBO月例報告会「欧州から見た対口関係およびロシア経済の現状」/7	
■ トピックス	7
三井と三菱、サハリン2新会社に参画へ/7	
ウズベキスタンへの直行便再開/7	
ズベルバンクがカザフスタン事業を売却/8	

2022年上半期のロシア経済と鉱工業生産

はじめに

ロシア連邦国家統計局より2022年上半期のロシアの主要経済指標が発表されたので、鉱工業生産を中心にそれらを図表にまとめて紹介する。

ロシアのGDP成長率は、パンデミックが落ち着き始めた2021年第2四半期から回復傾向にあった。しかし、ロシアによるウクライナ侵攻の影響により、2022年第1四半期の3.5%増から一転して、第2四半期は-4.0%と減少に転じた(図表2)。

鉱工業部門の生産指数を6月単月で見ると、鉱工業は前年同期比で-1.8%と減少している。鉱業のみ2.3%増加しているが、製造業は-4.5%、電気・ガスは-0.2%、水道・廃棄物処理は-14.2%となった。一方、1~6月期で見ると、鉱工業は2.0%増加しており、鉱業(4.2%増)、製造業(0.7%増)、電気・ガス(0.7%増)はいずれも増加し、水道・廃棄物処理(-2.5%)だけが減少した(図表4)。上半期の品目別内訳をみると、主要な生産品であるエネルギー資源では、石油(3.3%増)、天然ガス(-6.6%)となっている。その他の品目の中で特に大きく増加した品目は、コンピューター・同部品(56.2%)や農業用トラクター(18.9%)などであり、減少した品目は、乗用車(-61.8%)や、家庭用冷蔵庫・冷凍庫(-40.3%)、家庭用洗濯機(-35.8%)などとなっている(図表5)。

2021年上半期の鉱工業生産を連邦管区別・地域別に見ると、前者では北カフカス連邦管区(+10.2%)、後者ではサハ共和国(14.2%)やモスクワ市(8.8%)が、大きく増加した(図表6)。